

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ・ユー大宝		
○保護者評価実施期間	2025年2月12日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年2月12日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個人の特性に合わせた支援形態	児童の特性に合わせたレクリエーションや遊びの実施。 そろばん、体幹等の個別プログラムの実施。	「静」と「動」のスペース設置
2	学習支援	学校の宿題への取り組み実施の徹底	学校やご家庭との連携を強め、必要に応じた更なる学習支援形態の提供。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域との関わり、家族間の交流機会が少ない。	地域住民やご家族の参加型イベント機会を増やす。	イベント内容の立案。
2	非常時等の対応についてのご家庭への周知。	ご家庭へ周知するための媒体が整っていない。	実施した際はご家庭との連絡ツールに記載、SNSにて発信。 非常時対応マニュアルの配付。
3	活動記録の発信。	連絡ツールを使って個別の活動報告はできているが、全体通した活動の発信ができていない。	連絡ツールの活用、お便り、SNS発信等で周知。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ウィズ・ユード宝				公表日	2025年3月11日		
		利用児童数	33名		回収数	25名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	5		3	児童数に対しての適正職員数を知らない。送迎時に職員一人で大丈夫かと思うことがあった。	必要に応じて添乗職員を配置したり、増便して乗車人数を調整したりする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2		4		施設が2階のため階段の昇降が気になりますが、職員が帯同して引き続き対応する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	3		2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1		1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	2	12		地域の子供との交流の機会は持てなかった。今後、積極的に場を持つようしていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1		2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	21	4				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	5				定期的に面談を行っているが、頻度や面談方法について検討してみる。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	3				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	2	1	5	運動会イベントは楽しかったので、また開催してほしい。	家族交流機会となるイベント実施。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1		2	当日の記録のところに学習に取り組んだ時間を記入してもらえると助かる。	連絡ツール（HUG）の記録内容についての再評価
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1		1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3	1	7		必要なマニュアルは準備しているが、周知・説明について検討する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	4		10		定期的に行っているが、対象者を増やしたり頻度については検討していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	3		6		研修で取り組んでいるが、周知していた方法を検討する。
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			6		マニュアルは整備されているが、周知されていない。ご家庭に案内するようにする。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ウィズ・ユア大塚		公表日		2025年3月11日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。	○			送迎等のタイミングで一時的に職員が不足するタイミングがあるが、うまく職員間で連携をとっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	学習エリアの設置	階段が急。 「静」と「動」のスペースの確保。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、消毒業務を実施。 活発の児童に多数ご利用いただいている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		体調不良時等、職員室や学習室の使用をする。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝礼、終礼実施する。	さらに改善できるように、PDCAサイクルを回していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		可能な点については改善する。	出たご意見の他にも先にニーズを察知して改善していきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼、終礼時の意見交換する。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価については実施していないが、今後、検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の会議での研修を実施。	研修の種類や回数について検討していきたい。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			公表されているがさらに改良を加えて、よりよいプログラムにしていきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童について職員間での意見共有をしている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間での意見交換に基づく作成と計画書の共有		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			地域支援・地域連携については弱いので、具体的に何ができているのか考えてみる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間でのイベント内容の相談		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		イベントやレクリエーションのプログラム内容の流動性		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		学習や個別プログラム、自由遊びとみんな遊びの時間に基づいた支援計画		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼の実施		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼の実施		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		連絡ツール（HUG）にて当日の様子についての記載する。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年毎に計画書の修正をする。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			グループの代表者が参加しているが、今後は施設からも参加できるようにしていきたい。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			不十分なので、積極的に地域の機関との連携を深めていきたい。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○			移行の際の情報共有は不十分。今後、連携をとっていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○			移行の際の情報共有は不十分。今後、連携をとっていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○				自立支援協議会や部会へ参加して、必要な研修の場を作っていく。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○			今後、交流機会を作っていく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者会等、定期的を実施して情報提供を行っている。	保護者会の開催の頻度を検討したい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用契約時に説明をしている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○					

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			非常勤含めて支援内容を十分に把握するように努める。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期面談や常日頃から話ができる関係づくりに努めている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会や交流イベントの開催	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		職員間での共有と対策の設定	問題が発生した場合には、速やかに対応することを心がけたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		お便りやSNS発信の頻度を増やす。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		行事開催時の周知、その方法の設定
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年に2回の避難訓練実施(地震、火災)	周知方法については要改善(HUG、SNSの活用)
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に2回の避難訓練実施(地震、火災)	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントシートの確認	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメントシートの確認	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全計画の作成、安全管理訓練の実施
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全管理訓練実施時はHUGの記録等で周知
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの記入と朝礼終礼での共有	未然に事故を防ぐためにも危機管理の感度を上げていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のための対策検討委員会の設置、研修を実施している。	さらに理解を深められるようにしていきたい。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束等の適正化のための対策検討委員会の設置、研修を実施している。	さらに理解を深められるようにしていきたい。	